

市議会だより



12月定例会

令和8年（'26）年2月1日発行



松原の真言（県指定無形民俗文化財）

主な内容

- ◎議長・副議長選挙結果
一部事務組合の構成
各委員会の紹介
2～3ページ
- ◎12月定例会
議案審議と採決結果
4～5ページ
- ◎一般質問（14人）
6～12ページ
- ◎委員会の活動報告
議会報告会
13ページ
- ◎編集後記ほか
14ページ

◆ 12 月 定 例 会 日 程 ◆

- 12月8日 開会、委員会の委員長報告、議長の選挙、副議長の選挙、一部事務組合議会議員の選挙、市長の行政報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託、市長提出議案の質疑・討論及び表決
- 11日 総務常任委員会
- 12日 民生経済常任委員会
- 15日 建設文教常任委員会
- 16日 一般質問（渡邊光子・山中・岩崎・細谷・仲又）
- 17日 一般質問（渡邊広美・砂川・榊・浦田・近本）
市長追加提出議案の上程及び説明
- 18日 一般質問（須山・北村・渡辺まや・糸井）
- 23日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程・説明及び表決、閉会

議長 岡安政彦氏 副議長 岩崎隆志氏 を選出



各常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の各委員の選任や、一部事務組合議会の各議員選挙が行われ、その結果は次のとおりです。

会派は、次のとおりです。**(太字は代表者)**

《新政会》
糸井政樹 渡辺まや
砂川和也 岡安政彦
江森誠一

《立憲、国民、維新の会》
にいつま亮

近本あんな 細谷文人
佐藤洋

《おけがわ未来》

山中敏正 榊萌美
須山陽一朗

《公明党》

仲又清美 渡辺広美
岩崎隆志

《ともに生きる会》

北村あやこ 浦田充

《無会派》

渡辺光子



12月定例会初日の8日に佐藤洋議長が辞職されたことに伴い、議長及び副議長の選挙が行われました。

投票の結果、議長に岡安政彦議員、副議長に岩崎隆志議員が当選しました。選挙の結果は、次のとおりです。

議長選挙

岡安政彦 18票
(無効投票0票)

副議長選挙

岩崎隆志 16票
(無効投票2票)

就任のごあいさつ

市民の皆様には、日ごろより市政並びに市議会に對しまして温かいご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

私たちは、昨年12月議会において、議員各位からのご推挙をいただき、議長、副議長という重責を担うこととなりました。身に余る光栄と感謝いたしますとともに、その責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

二元代表制の一翼を担う市議会は、行政運営の監視にとどまらず、市民の皆様の代弁者として、市長や執行機関と真摯な議論を重ね、積極的に提案、提言していくことが、責任であり、使命であると存じます。

本市は昨年、市政施行55周年を迎えました。今後の更なる発展に向けて、歴代の議長、副議長が築き上げてこられた伝統の上に、心を新たに、常に公正で円滑な議会運営を心がけ、議会がより

開かれたものとなるよう努力してまいります。

また、多様化する市民ニーズを的確に把握し、積極的な議論を経て市政に反映することで、皆様の暮らしがより豊かで安心できるものとなるよう議会一丸となって取り組んでまいります。

今後とも市議会に対する市民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

上尾、桶川、伊奈 衛生組合議会	桶川北本 水道企業団議会	埼玉県中央域 事務組合議会	川島桶川資源循環 組合議会
渡邊 広美 砂川 和也 北村あやこ 岡安 政彦 にいつま 亮	渡辺 まや 岩崎 隆志 榊 萌美 近本あんな 細谷 文人	須山陽一朗 糸井 政樹 浦田 充 渡辺 光子	仲又 清美 山中 敏正 佐藤 洋一 江森 誠一

各委員会の委員が

決まりました

12月定例会において、総務常任委員会、民生経済常任委員会、建設文教常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の各委員が選任されましたので、紹介します。

任期は、令和9年12月までの2年間です。

◎委員長 ○副委員長



総務常任委員会

後列左から

糸井 政樹 細谷 文人 にいつま 亮

前列左から

渡邊 光子 ◎山中 敏正 ○渡邊 広美



建設文教常任委員会

後列左から

榊 萌美 近本 あんな 渡辺 まや

前列左から

浦田 充 ◎江森 誠一 ○仲又 清美



民生経済常任委員会

後列左から

北村 あやこ 佐藤 洋 岩崎 隆志

前列左から

岡安 政彦 ◎砂川 和也 ○須山 陽一郎



議会だより編集委員会

後列左から

砂川 和也 渡辺 まや 近本 あんな 岡安 政彦

前列左から

仲又 清美 ○榊 萌美 ◎佐藤 洋 北村 あやこ



議会運営委員会

後列左から

山中 敏正 砂川 和也 にいつま 亮 佐藤 洋

前列左から

渡邊 広美 ◎糸井 政樹 ○北村 あやこ



議案審議の条例等

条例等

各常任委員会に条例等の審査が付託されました。主なものは次のとおりです。

総務常任委員会

桶川市自転車駐車場条例の一部を改正する条例

桶川駅西口第一自転車駐車場、駐車場の改修工事に伴い、普通自動二輪車を利用できるようにするものです。

問

普通自動二輪車を自転車駐車場で受け入れることにした理由を伺う。

答

市民から本市の自転車駐車場に普通自動二輪車を駐車したいという、要望が定期的にあります。

また、過去には、議会や自転車対策協議会の委員からも、普通自動二輪車の駐車スペースの確保について要望もありました。



民生経済 常任委員会

桶川市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の税率、税額及び賦課限度額を変更するものです。

国民健康保険税率の県内準統一が令和9年度に予定されています。

埼玉県は「県内のどこに住んでいても、同じ世帯構成、所得であれば同じ保険税となること」を目指しています。

改正後の国民健康保険税は令和7年度と比べてどの程度増加するか伺う。

問

令和8年度は、7年度より16億円の増を見込んでいます。税率改正の目的は赤字解消で、赤字は約3.1億円と想定しています。16億円は国民健康保険税の引上げで対応し、残り15億円は財政調整基金を活用する予定です。

答

令和8年度は、7年度より16億円の増を見込んでいます。税率改正の目的は赤字解消で、赤字は約3.1億円と想定しています。16億円は国民健康保険税の引上げで対応し、残り15億円は財政調整基金を活用する予定です。

問

桶川市独自の支援策や軽減策は難しいとのことだが、市民にはどのように説明するか伺う。

答

令和9年度からは県の方針で市独自の税率引下げができません。

周知は広報で分かりやすい記事を掲載し、記事内にQRコードを表示し、詳細をホームページで掲載することを考えています。

さらに令和8年7月の納税通知書に説明資料の同封を検討しています。

また、前回改正時と同様に、広報で複数回特集を組み、丁寧に説明する予定です。

問

現時点では、大阪府と奈良県の二府県しか統一していない。埼玉県は、比較的早く統一を進めているが、物価高で生活困難な人も増えている。窓口対応や生活相談を同時並行でやっていくべきではないか。

●国民健康保険は現在、市町村それぞれが保険者となって運営していますが、平成30年度からは県と市町村が共同保険者となって運営します。
●県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化を図ります。

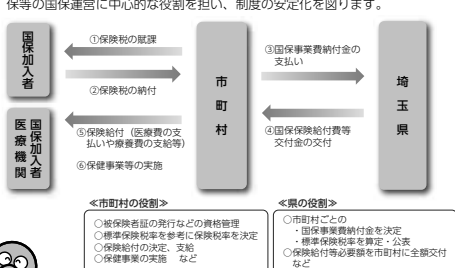
答

物価高で負担が増す一方、賃金や年金は追いついていません。国民健康保険税が実際の医療費に比べてかなり低い割合になっているため、財源不足から国民健康保険税の引上げが必要ですが、生活困窮の懸念も承知しています。

国庫補助の拡充を要望しつつ、社会福祉課と連携して相談対応を強化し、ケースごとに丁寧に支援していきます。

委員会では、反対の立場から討論がありました。が、賛成多数で可決となりました。

委員会では、反対の立場から討論がありました。が、賛成多数で可決となりました。



市内の「こども誰でも通園制度」の対象は6か月～3歳未満児約600人で、保育施設利用児は除かれます。鴻巣市の令和6年度実績では、月平均15人、16人が1人当たり8時間程度利用しているの、桶川市も同程度の利用と予測しています。

答

制度の全国一斉のスタートは令和8年4月で、桶川市は令和8年度から開始予定です。なお、先行して試行実施している市町村もあります。

問

「こども誰でも通園制度」はいつから始まるのか。また潜在的なニーズはどのくらいあるのか伺う。

桶川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

乳児等通園支援事業

「こども誰でも通園制度」を実施するにあたり、その設備及び運営に係る基準を定めるため、新たに条例を制定するものです。

議案審議／採決結果

建設文教
常任委員会

市道の路線の認定について

問 下日出谷東二丁目地内と加納地内2つの市道の認定までの経緯を伺う。

答 まず、開発事業者が市と道路の構造等について事前協議を行い、開発許可を取得します。

開発許可後、開発事業者が道路整備の工事を行い、道路整備の完了後は市職員が完了検査を行います。その後、市に財産（道路）の引継ぎが行われ、最後に議会に市道の認定の議案を提出しています。

補正予算

年度途中の事業の進捗により必要な経費で、主な質疑は次のとおりです。
〔一般会計第5回〕

《道路新設改良事業》
157万円
道路新設改良費増額の理由を伺う。

問 市道10―1号線と中山道の交差点は、日常的に渋滞があり、市としては、道路の拡幅や交差点の改良が必要であると認識している場所でした。

答 このたび、交差点に隣接する土地について、公有地の拡大の推進に関する法律第5条の届出が出されたことから、土地の所有者と買取り協議を行います。そのため、道路用地取得のための測量委託、土地鑑定委託、物件調査委託の費用を計上するものです。

人事関係
教育委員会委員を
同意
あきやま せつこ
秋山 節子 氏

監査委員を同意
にいづま りょう
新妻 亮 氏

12月定例会の採決結果

◆ 次の議案は全会一致で可決・同意・承認されました。

議案番号	議案名
第67号	令和7年度桶川市一般会計補正予算（第5回）
第68号	令和7年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算（第3回）
第69号	令和7年度桶川市公共下水道事業会計補正予算（第4回）
第70号	桶川市部設置条例の一部を改正する条例
第71号	桶川市自転車駐車場条例の一部を改正する条例
第72号	桶川市職員の旅費に関する条例及び市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
第73号	桶川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例
第75号	桶川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

議案番号	議案名
第76号	指定管理者の指定について（桶川市地域福祉活動センター）
第77号	市道の路線の認定について
第79号	令和7年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算（第4回）
第80号	令和7年度桶川市介護保険特別会計補正予算（第3回）
第81号	令和7年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）
第82号	令和7年度桶川市公共下水道事業会計補正予算（第5回）
第85号	教育委員会委員の任命について（秋山 節子 氏）

◆ 賛否が分かれた議案は次のとおりです。 ※議長は採決に加わりません

議案 番号	議 案 名	議決 結果	新 政 会				立憲、国民、維新の会				おけがわ未来		公明党			ともに 生きる会		無 党派		
			渡 辺 ま や	砂 川 和 也	糸 井 政 樹	岡 安 政 彦	江 森 誠 一	近 本 あ ん な	細 谷 文 人	佐 藤 洋	に い つ ま 亮	榊 萌 美	須 山 陽 一 朗	山 中 敏 正	仲 又 清 美	渡 邊 広 美	岩 崎 隆 志	北 村 あ や こ	浦 田 充	渡 邊 光 子
第74号	桶川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
第78号	令和7年度桶川市一般会計補正予算（第6回）	可	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第83号	市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第84号	桶川市職員の給与に関する条例及び桶川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第86号	監査委員の選任について （新妻 亮 氏）	可	○	○	○		○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	×	×	○

※表の見方 賛成：○ 反対：× 欠席：欠 除斥：除 退席：退
除斥…議員は直接の利害関係にある議事には参加できないとする制度です。関係事案の審議に際しては退場しなければなりません。
退席…議員個人の判断で、採決前に議場の外へ出ることです。

一般質問の内容については、
議員本人が編集したものです。

一般質問

税金の二括口座引き落とし方法について



渡邊 光子

無党派



問

私は、納付の用紙が届くと早々に

年度分を一括して納付していたが、初めて都市計画税の督促状が来た。納付したつもりだったので、領収書を探したが、納付を忘れていたようだ。そこで伺う。

再度の納付忘れがないよう一括の口座引き落とし方法を伺う。

答

本市では現在、市税の一括での口座振替は行っていない。しかし、自治体情報システムの標準化に伴い、本年11月から稼働している新たな税の収納管理システムでは、一括で口座振替を行うことができる機能を実装しています。

今後はこの機能を活用し、令和8年度一括での口座振替に対応すること

問

を指し、準備を進めています。

問

県内で一括納付を行う自治体はあるか。

答

県内では25の自治体が一括での口座振替を行っています。

問

一括納付のメリットを伺う。

答

納付忘れのリスクが軽減されることや、振替時にその都度口座残高を確認する手間がなくなることです。

本市にとっては、一括納付により資金が前倒しで確保でき、資金収支の改善が図れます。

入学準備金貸付けについて

問

高校等、大学等へ進学する前に入

学準備金として貸付けるが、借りる方は保証人（平成2年度まで）、連帯保証人（平成23年度から）をつける。しかし、未返済の方もあり、私の議会一般質問等で未返済の回収を訴えてきたが、全く進まなかった。

今年度に入り、平成11年度25万円の未返済等を含み未返済額が急減した。職員の努力がうかがえる。このような職員の努力を、市長に褒めていただきたいと思うが。

答

これまでの職員が一切職務を怠っていないということではないと思います。職員も日々誠実に業務を行っています。

未済未納については、それぞれの事情もあるかと思うので、そういった個々のご事情にもしっかりと寄り添いながら、仕事は仕事として、しっかりと債権の回収ということについても取り組んでいるのではないかと思います。

市内小・中学校の水泳授業について



山中 敏正

おけがわ未来



問

中学校の民間委託による水泳授業の成果について、伺う。

答

実施したアンケート結果、およそ9割の生徒から、「授業に積極的に取り組めた」、「泳ぎ方のポイントが分かった」、7割を超える生徒から、「長い距離を泳ぐことができるようになった」との回答が得られたことも成果として捉えているところです。

問

体育授業の選択肢を増やす考えから、中学3年生における水泳授業の方向性について伺う。

答

次年度から水泳を行わず、代わりに学習内容として「器械運動」、「陸上運動」、「ダンス」から学校が選択することとしています。

問

小学校のプール更新に係る費用と民間委託した際のコスト比較について伺う。

答

小学校7校分の大規模改修に係る費用に、光熱水費を含む維持管理費を加算して、1年あたり約6000万円と試算しています。

問

小学校全てを民間委託した場合、年間にかかる委託費は、約420万円と試算しており、現状に比べて約240万円、割合で約37%のコストを削減できると考えています。

問

屋内プールを活用する民間委託は、雨天や猛暑時にも授業を実施することができ、小学校における水泳授業の民間委託への考えについて伺う。

問

桶川東中学校では、取組が3年目となる。むしろ歯予防効果として、どのように評価されるか伺う。

答

生徒のむしろ歯は、この3年間で減少傾向です。日頃の歯磨き、歯科医による定期健診、フッ化物洗口の実施、これらの取組により、一定の効果が表れたものと捉えています。

問

フッ化物洗口の実施に向けた今後の方向性について伺う。

答

桶川中学校、桶川西中学校、加納中学校では学校歯科医との連携のもと、保護者説明会の開催等を行っています。早ければ令和8年度から市内4中学校すべてで、希望者に対するフッ化物洗口事業が実施できる体制が整う見込です。

の実施を前向きに検討します。

学校におけるフッ化物洗口について

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

「生涯安心」の設計図、人生100年時代、市民が最優先する保健医療・福祉体制の未来



岩崎 隆志

公明党



問

市民の要望が高い医療施設やサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）の具体的な拡充計画は。

答

サ高住については、現在、市内6か所（265戸）あり、令和6年度から8年度までの計画においても必要見込量を同数としているため、現時点で拡充計画はありません。本市のサ高住の割合は33%と県平均（26%）を上回っており、充足していると判断しています。

問

医療施設については、県が策定する計画に基づき調整されており、市としての具体的な誘致計画はありませんが、多職種連携による地域医療の向上を図っています。

少子高齢化で社

会保障費が増大する中、サービス維持のための財源をどのように確保するか。

答

行財政運営の効率化や補助金・市債の活用に加え、圏央道インターチェンジ周辺（約20ヘクタール）への産業施設の立地誘導を進めることで、新たな財源（市税収入）の確保と経営資源の最適化を図ります。

問

「災害時避難69%不安」を解消！市民の生命と財産を守る強靱な地域防災の最前線

答

市民の69%が避難に不安を感じている現状に対し、特に感染症対策としてどのような対策を講じているか。各小学校の避難

所において、感染者専用の教室や動線を分けた居住スペースを設ける体制を整備しています。

また、密を避けるために、在宅避難、ホテル避難、車中泊避難、縁故避難といった「分散避難」の周知を、防災講座などを通じて進めています。

問

避難所における感染症対策物品の備蓄状況と、その周知はどうなっているか。

答

マスク、消毒液、パティション、段ボールベッドなどを市防災倉庫に備蓄しています。

これらの種類や数量については、今後市ホームページで提供できるよう検討していきます。



外国人との共生について



細谷 文人

立憲、国民、維新の会



問

本市の外国人住民数の5年間の推移は。

答

令和7年の外国人住民の総数は1,417人で、令和3年度の同時期と比べ、502人増となっており、年々増加傾向にあります。

問

国籍別の人数の5年間の推移は。

答

中国、ベトナム、ネパール、フィリピン、韓国の上位5か国の順で推移しており、そのほかの外国人の国籍については、主に東南アジアの方々となっています。

問

そのほかの外国人の国籍は、具体的にどこか。

答

多い国の順に、ミャンマーが75人、インドネシアが64人、スリランカが64人、インド

問

が41人となっています。外国人との共生を図る上で、本市に課題は何かあるか。

答

外国人それぞれにより、行政サービスや地域情報の理解度に差が生じることが懸念されています。

また、地域住民との交流の場が限られており、互いの文化や習慣を理解する機会が少ない点も課題としてあります。

問

県内の外国人住民を対象としたアンケートで、回答者の70%が行政機関からの文書について、「読むことが難しい」「または「とても難しい」と答えている。

問

本市も、ごみ出しや国民健康保険料の納付など重要な情報については、多

答

先進事例を参考に、調査研究をして行きたいと思っています。

言語対応した紙媒体で周知することを考えて行ったらどうか。

また、全ての国の言語に対応できないのであれば、まずは国籍別で多い言語から翻訳して行ったらどうか。さらに「やさしい日本語」を用いれば、母国語にかかわらず理解することが容易になり、多言語対応のコストも削減することができると、いかがか。

答

どこまでの情報を何カ国分作成するのか、また最新の情報と掲載内容で差異が生じる可能性もあります。現在のところ、重要な情報を多言語で対応しているホームページの方を御覧いただくよう、窓口で案内しています。

問

互いの文化や習慣を理解するため、国際交流イベントや、異文化交流カフェを催すのはどうか。

答

先進事例を参考に、調査研究をして行きたいと思っています。

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

「桶川市コミュニティ推進事業」補助金の使途について



仲又 清美

公明党



問 ごみ集積所に置く、ごみボックスの補助の実績は。

答 令和5年度以降は、申請件数が毎年度1件です。

問 ごみボックスの申請基準は。

答 申請基準は、特に設けていません。

問 申請基準を設けてないと言うが、市民が自ら作製したいと相談をした際、既製品以外は、補助できないと断られた。その理由は。

答 既製品のごみボックスは、市場価格が明確で、カタログや見積書により金額の妥当性が確認できることから、補助金として適正に審査、支出ができると考えるからです。また、既製品は、一般的には耐久

性や安全性といった品質をメーカーから数年間の保証があることから、既製品のみを補助対象としています。

問 要綱には、特に

ごみボックスも、既製品に限るとの基準もない。既製品より手作りのほうが安価でできる。補助金の支出も少額に済み、市民にとって使い勝手の良い補助金となる。

市民の声を受け止め、要綱の使途や、判断基準等、わかりやすい周知方法など、再度要綱の見直しをする考えはないのか。

答 ごみ集積所の整備に特化した補助金制度として位置づけていないため、その他として特に認めた事業に適用しているところから、ごみボックスの補助について

は、要綱の見直しも含め、他市の状況等を参考に検討します。

5歳児健診の導入について

問 令和10年度までに国が目指す5歳児健診は、令和5年度の国の補正予算措置を受け、県内でも今年度から導入する自治体が増えている。本市はどうか。

答 本市も、就学を安心して迎えることができるよう充実させたいと考えています。

問 令和10年度、5歳児健診が開始できると受け止めて良いか。

答 令和10年度に開始できるよう準備を進めています。

問 葛飾区は、5歳児全員に、発達のアンケートを行っている。来年度、本市は、どのような準備をするのか。

答 年齢の節目に何かしらの働きかけを行いたい、と検討しています。

誰もが安心して暮らせるまちづくりについて



渡邊 広美

公明党



問 国際電話からの特殊詐欺対策について伺う。

答 特殊詐欺の電話のうち73%が国際電話からとなっています。対策として固定電話の場合は、国際電話不取扱受付センターに申込み、国際電話の発信着信の休止手続を無料で行うことが可能です。携帯電話は、警視庁防犯アプリ「デジポリス」で警察が把握した特殊詐欺犯利用番号と、国際電話の着信を自動でブロックできます。

問 防犯カメラ付自販機の設置の方向性について伺う。

答 自治体と飲料メーカーが防犯に関する協定を締結し、市の負担なく設置するものであり、検討します。

高齢者の難聴予防と対策について

問 聴覚機能の衰えチェックや講演会の開催について伺う。

答 次年度以降で検討しています。

問 高齢者補聴器の購入費助成について伺う。

答 導入に向け進めています。

職員の業務効率化について

問 電子投票導入について伺う。

答 投票が簡便になり、疑問票がなくなることで職員数の削減、デジタル化による集計、開票時間の短縮ができました。

す。課題はタブレット操作を説明する職員や電子投票用機材費用等があり、慎重に検討します。

問 窓口時間短縮による職員の働き方改革、人件費削減について、市長に伺う。

答 窓口時間の短縮は、事前準備、閉庁後の処理を勤務時間内に行うことができ、職員の業務負担の軽減にもなります。その一方で、市民の皆様の利便性の影響が懸念されます。市民サービスの向上と職員業務負担の軽減のバランスを取りながら、検討を進めていきます。

問 介護認定事務のAI補助判定やオンライン審査会について伺う。

答 AIの導入により時間短縮、正確性が向上します。審査会のオンライン開催により、増加する申請者の対応、審査会委員の負担軽減が有効です。引き続き情報収集します。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

道の駅開業の実績と 防災道の駅の災害への備え



砂川 和也

新政会



問 道の駅来場者と販売状況、観光客と地元住民の割合を伺う。

答 来場者数は年間目標44.5万人を上回り順調です。地元産品の割合は、約6割です。

問 市内外の割合は未把握ですが、今後アンケートで確認する予定です。

答 地域連携や地元割合を増やすために、具体的な取組を伺う。

地域の連携企画は、乳搾り体験や農産物紹介のじゃんけん大会を実施し、新商品では、地元野菜の新メニューや桶川産牛乳100%のラーメンを開発しています。

問 施設は、完成後の取組が特に重要であると考えが如何か。

答 市として今後も地域の皆様と指定

管理者の橋渡し役となり、連携を深めていきます。

問 防災道の駅の整備状況、利用実績、市は非常用発電設備や貯水槽、か

答 まどベンチを、国は非常用発電設備やマンホールトイレを整備しましたが、現時点で利用実績はありません。防災道の駅に選定されたことも踏まえ、

知度向上を図ります。

問 道の駅は、本市の防災計画で救済物資の拠点とされているが国との防災連携を伺う。

答 道の駅のBCPは大宮国道事務所と共有しています。今後の連携については、同事務所などの意見を伺いながら検討していきます。

利便性を実感できるマイナンバーカードの活用へ

問 カードの制度周知や利用促進のための広報について、伺う。

答 市は、カード利用促進のためガイドブックを作成し、取得、更新者へ配布予定です。

問 カード内の空き領域の活用を伺う。

答 チップには空き領域があり、アプリを載せることで多様なサービスが利用できることから、カードの利便性向上につながります。他自治体の事例も参考に研究します。

問 カードを利用する電子申請サービスを市民に使いやすく整理し、窓口業務時間の見直しを検討しては如何か。

答 カードを含む電子申請の拡充は、市民サービス向上と窓口業務の効率化につながる考えますので、窓口時間と併せて検討します。

持続可能な財政運営の推進について



榊 萌美

おけがわ未来



問 限られた財源を効果的に活用するため、事務事業評価を行っているか、伺う。

答 今年度は、事務事業の評価は行っています。

問 財政調整基金の10年間の残高推移の実績を伺う。

答 令和元年度に残高が大きく落ち込み、令和6年度まで10年度で推移しています。

令和元年度は、可燃ごみの外部委託処理を開始した年度です。本市の施設で焼却する場合と比較し、毎年3億円程度多く経費がかかり、主にその影響によるものです。

この影響は新たにごみ処理施設が建設され、稼働開始する令和15年度頃まで続くものとなります。

問 今後は、基金残高の増額を図ることを考慮する考えです。

問 基金を計画的に積み立てていくため、財源を捻出できる体質へ転換していくことが不可欠だが、今後どのように事業の見直しを行うか、伺う。

答 令和9年度予算に向け、市税や保険料等の収納率等の維持、使用料・手数料等の見直し、ふるさと納税の税収増等、歳入確保の取組を推進する必要があると考えています。

歳出では、少子化、DX化を念頭に置き、行政サービスの在り方、直営や委託による費用対効果の検証を検討します。見直しの実施方法は、所管課による検証や庁内プロ

ジェクトチームによる検証等が考えられます。

ふるさと納税の現状と今後の方向性について

問 受入額の3年間の推移について、伺う。

答 令和4年度は、2641万1000円、令和5年度は2105万6000円、令和6年度は2100万8000円です。

問 中間事業者によって支援内容が異なるが、他事業者と比較、検討したことがあるか伺う。

答 現在の受託事業者の業務開始からおおむね3年が経過しました。

ふるさと納税制度も含め状況も変化しているため、本市の実情に合った業務内容について、他自治体における事例や実績なども含め、検討を行っています。

一般質問の内容については、
議員本人が編集したものです。

一般質問

実効性のある福祉避難所運用を



浦田 充

ともに生きる会



問 福祉避難所の収容可能人数を伺う。

答 老人福祉センターが84名、保健センターが193名、合計277名と想定できます。

問 要配慮者の人数1,095人に比べて、定員が少ないが、これですべてをカバーできるのか。

答 足りない部分は、協定している福祉施設等での受け入れも、想定しています。

問 その協定について、受入れ可能人数を把握しているか。

答 こちらの人数については、適宜確認していきます。

問 所沢市などでは避難行動要支援者の個別計画が策定され、避難所が特定されている方は、直接福祉避難所に

避難できるようになっているが、どう考えるか。

答 今後、そういう自治体の状況を研究したいと考えています。

問 誰もが埼玉県GISの情報を取得できる環境整備を

問 インターネットの利用が困難な方が、埼玉県の情報システムの情報を知りたい場合、どう対応するのか。

答 部分的な情報は、印刷してお渡しするなど、利用しやすい形で対応に努めています。

問 桶川市障害者就労支援センターの役割について

問 ハローワーク、埼玉県で設置している障害者就業・生活支

援センターと、桶川市障害者就労支援センターのそれぞれの違いを伺う。

答 ハローワークは、職業安定法に基づき設置され、一般的な職業紹介などとともに、障害者雇用としての職業紹介や相談を行っています。

問 障害者就業・生活支援センターは、障害者雇用促進法に基づき、地域における中核機関として、就業及び生活に関する指導助言などを高度な専門性を持つジョブコーチなどが対応しています。

問 桶川市障害者就労支援センターは、より身近で日常的な相談先として設置しています。個々の状況に応じ、市の就労支援員がサポートし、国や県の専門的な支援機関等と連携しています。

問 桶川市就労支援センターは、市役所出張相談を行うようになったが、利用実績を伺う。

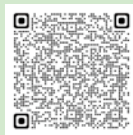
答 今年度10件の利用があり、6件が新規の相談です。

親の離婚、子どもの権利を守るために



近本 あんな

立憲、国民、維新の会



問 4月1日施行の選択的共同親権が必要な理由は何か、伺う。

答 子どもが父母の離婚後も引き続き父母からの愛情と支援を受け続けられるようにするものです。子どもの利益を最優先することを重要な目的としています。

問 離婚に際しての子の意見の尊重や、子の利益の最大化はどのように成し遂げるのか。

答 養育計画が作られる事と、子どもなんでも相談等があります。市として専門機関につなげていくことも考えます。

問 養育計画策定のために、市が実施する支援策は何か。

答 養育計画は子の最善の利益のため

に、教育・医療・生活費等の重要事項を定める合意書です。市が実施できる支援策は、弁護士が行っている法律相談等の情報提供があります。

問 養育計画策定には、心理的なハドルがある。子どもも家庭センター等が第三者的に策定支援すべきと考える。

答 作成支援のノウハウと、離婚協議に関わる計画であるという法的な関係性です。

問 子どもの人権を守り、最善の利益を目指すことをどのくらい大切に考えているのか、市長の考えを伺う。

答 子どもの最善の利益を目指すという理念は、本市のあらゆることも施策の根幹をな

す最も大切なものです。

道路交通法の改正 私たちの自転車ライフはどう変わるのか

問 「自転車歩道」を走ったら反則金

との報道がある。警察庁が発表している取締りの考え方を伺う。

答 悪質、危険な行為が自転車の交通違反の取締り対象となります。

問 歩道で危険運転をしていなければ、反則金が課されることもない、ということか。

答 危険運転をしていなければ、反則金が課される事はないという認識です。

問 大人向けの交通安全講座を実施してほしい。県の職員による出前講座について、市民に広く周知してほしいと思うが、見解を伺う。

答 市のホームページで、県実施の出前講座や交通安全教室の周知を図ります。

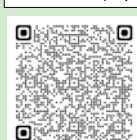
議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

学校給食の質の確保と無償化議論における持続可能な負担の在り方について



須山陽一郎

おけがわ未来



問

物価高騰が続く中、来年度以降の食料費の上昇について、市はどのように試算しているか。

答

物価上昇率等を勘案し、今年度より約9700万円の増額になると試算しています。

問

想定外の価格急騰等が起きた際、予算の帳尻合わせのために食料の質を落としたり品数を減らしたりすることはあってはならない。

答

市として補正予算等の措置を講じてでも、給食の質を支える覚悟はあるか。

答

これまでと同様に、必要な予算措置を講じ、適正な質や量を確保した上で、学校給食を提供します。

問

約1億円もの増額に加え、国の支

答

児童生徒のために、適正な質や量を確保した学校給食を、安定的に継続するとともに、食育の推進に取り組んでいきます。

複合的な駅前ムクドリ対策の必要性

問

駅前のムクドリ対策は、いたちごっこが続いている。景観を損なう強剪定や人海戦術に頼らず、他市で成果のあるタカやフクロウ等の生物的対策を検討できないか。

答

近隣事例も含め、新たな選択肢の一つとして、生物対策は比較検討する余地があると認識しています。

問

対策の「見える化」は、安心感につながる。ホームページやSNSでの事前予告運用へ転換できないか。

答

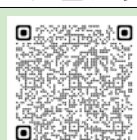
飛来予測は困難ですが、安心感醸成のため、今後の対応を検討します。

加害教師のセクハラ行為に厳正な処分を



北村あやこ

ともに生きる会



問

裁判の判決が確定し、市は被害生徒に、110万円を支払う命令だ。教育長の談話もホームページに出たが、現状は何も解決していない。

問

今回、当時教師が否定したセクハラ。体、胸、腹を触るなどが、裁判で認められた。徹底的に調査をしていたきたい。

答

他の教職員や生徒から聞き取りを行わず、当該教諭と校長の事情聴取のみで指導措置を行ったことを、反省、教訓とし、新たに不祥事発生時の対応手順を見直しました。

問

当該教員の行為について、今後適切に対応していきます。

答

飛来予測は困難ですが、安心感醸成のため、今後の対応を検討します。

問

被害生徒の問い、「僕は何か悪いことをしましたか。僕はどうすればよかったか、教育長教えてください」に、答えていただきたい。

答

あなたは全く悪いことはしていません。積極的に勉強し、リーダーシップを取り頑張った、と聞いています。

問

君の心からの叫びに、本当に伝わったと、想像します。これからは大人のサポートを受け入れていただき、先の人生を考えていただければ、ありがたい、と思っています。

答

飛行学校 市長の責任で決着を

問

杉材が安い米松に代わっているなど、設計と納品が違うと、

答

今年度4月に訪問し、竣工図の修正、7月に仕様の相違点についての確認をしています。

問

今後、いずれかの時期にご質問の資料の確認もしたいと考えます。

答

7億もかけ、そのうち1億7千万円も、ものつくり大学に払い、納品のチェックもしていない。設計と違う説明もできず、いつまで放置するのか。

問

ものつくり大学と協定した、この間のいきさつをずっと知っているのも市長だ。もういい加減、決着をつけていただきたい。

答

答弁が守られず、申し訳ありません。今年度中には全ての建物の計測を終わらせ、修正方針を立てた上で、竣工図の修正完成まで行きたいと思っています。

教育長 被害生徒に真摯に答える

問

杉材が安い米松に代わっているなど、設計と納品が違うと、

一般質問の内容については、
議員本人が編集したものです。

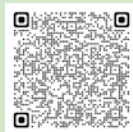
一般質問

桶川市の物価高騰対策 今までの評価を踏まえて最大の効果を



渡辺 まや

新国会



問 現段階の進捗を伺う。

答 広く支援の効果が行き渡る事業を実施します。

問 本市へ交付される金額と、国が示す推奨メニューを伺う。

答 内示額は約6億円、推奨メニューは、生活者支援が『商品券・水道料金の負担軽減・学校給食費の支援』、事業者支援が『経営指導員による伴走支援・生産性向上に向けた補助・エネルギー価格高騰分の支援』等です。

問 お米券の可能性はあるのか。検討中です。

答 今まで実施した本市の物価高騰対策で、作業負担や事務費用が特に抑えられた支援

問 水道料金の基本料金の免除です。地域経済に最も寄与すると評価している支援を伺う。

答 市内共通お買い物券です。

問 令和8年度、全中学校実施予定「フッ化物洗口」の安全性について

答 2024年9月24日、カリフォルニア北部地区連邦裁判所で、フッ素化合物を1ℓ当たり0.7mg水道水へ添加していることが「子供の知能指数低下と関連する可能性がある」と判決が下された。これを受け、米国食品医薬品局では、フッ素化合物が含まれた子供向けの錠剤や液剤を市場から撤去することを決定し

た。水道水へのフッ素化合物の添加を中断した州もあり、全米で議論が生じている。本市でも無視できない内容ではないか。今後、世界的にさらなる研究や議論がある」と見ており、現時点では、適正な量の範囲でフッ素を使用することが望ましいと考えます。保護者説明会の参加人数を伺う。

問 加納中学校では10名程度でした。来られなかった方への対応は。

答 歯科医師会が資料の準備や質問への対応を行います。使用薬剤は劇薬とされている。説明責任の観点から、薬液の副作用を記した紙を配布することも有効ではないか。

問 歯科医師会に情報提供します。小学校での実施予定はあるか。検討していますか。

答 桶川市の小中学校における不登校児童生徒の現状は、どのようになっているのか。

桶川市の教育について



糸井 政樹

新国会



問 令和6年度の小学校の不登校児童数は79人、中学校の不登校生徒数は105人と全体では増加しています。

答 多様な学びと言われるものの一つであるフリースクールを、教育委員会は、どう捉えているのか伺う。

問 文部科学省の、COCOLOプランにおいて、多様な学びの場と示されているフリースクールは、不登校児童生徒への学びの場所を提供しているものと、教育委員会は捉えています。

問 桶川市の教育委員会では、税金を使つて義務教育を司る立場

にある。基本的には学校に来てもらいたい、不登校の子供たちには学校に戻ってもらいたい、と考えているのか、伺う。

答 学校教育を受けてもらいたいという思いはありますが、国におきましても学校に登校するという結果のみを目標とするのではなく、個々の児童生徒の状況に応じた具体的な支援を展開することが重要、とされています。

問 スマホ・PCゲームなどの依存が以前より問題になっているが、見解を伺う。

答 スマホなどの電子機器は、学校以外でも使用されていることから、学校・家庭・地域が一体となって子供たちがスマホなどに依存す

ることがない環境づくりが必要と考えています。

桶川市のシビックプライドについて

問 シビックプライドとは、市民の誇りを意味し、自分が住む桶川市に対して抱く誇りや愛着である、とされている。シビックプライドの醸成について市長に考えを伺う。

答 シビックプライドの醸成は、まちづくりを進める上で大変重要なものと考えています。地域の魅力を発信するプロモーション活動や、教育を通じた意識向上、地域の特性を生かした開発や活性化政策などが重要と考えています。

問 桶川市の子どもたちが愛着を持てるまちづくりを目指す活動、子どもを承認して活躍の場所を提供することについて、考えを伺う。

答 関係機関と協力し、取り組みます。

委員会の活動報告／議会報告会

市議会の常任委員会は、令和7年10月～11月に先進地を視察しました。視察の報告は、令和7年12月定例会で、各常任委員会の委員長が行っています。

また、常任委員会では、それぞれの所管事務に関わる市内の団体と、意見交換会を実施しています。意見交換会の報告は、直近の定例会で、各常任委員会の委員長が行います。



総務常任委員会

10月21日・茨城県常総市
「防災先進都市を目指す
常総市の取り組み」



民生経済常任委員会

10月2日・長野広域連合
「ちくま環境エネルギー
センターについて」



建設文教常任委員会

11月5日・大阪府堺市
「学校のきまりやルール
(校則)の見直しガイド
ラインについて」



10月8日・意見交換会
「フリースクール連合会」
の皆さんと



議会運営委員会

10月30日・埼玉県戸田市
「議会基本条例、議会改
革の取組みについて」



第19回議会報告会を開催しました

令和7年11月15日(土)
に桶川市坂田コミュニティ
センターで開催し、
12人の方にご参加いた
だきました。



議会報告会当日の資
料や、アンケート集計
結果、ご意見等は、市
議会ホームページでご
覧いただけます。





表紙の写真を募集中!!



『おけがわ市議会だより』の表紙に市民の皆様からの写真を募集します。
応募規定など詳しくは、隣のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取って、ご確認ください。

定例会のお知らせ

3月定例会は令和8年2月20日(金)
9時30分開会で、会期日程は以下の
予定です。

(※都合により変更する場合があります。)

[会期日程(案)]

2月20日	開	会	日
2月24日	本	会	議
2月27日・3月2日・3日	常	任	委
3月 4日	本	会	議
3月 5日・6日・9日~11日	常	任	委
3月12日・16日~18日	一	般	質
3月19日	本	会	議
3月25日	本	会	議
3月26日	閉	会	日

議会インターネット中継は、市ホームページから市議会の
議会中継を検索いただくか、次の検索方法又はQRコード
から検索してください。

桶川市議会スマート中継

検索



12月議会本会議傍聴者数 インターネット議会中継閲覧数

月日	12/8	12/16	12/17	12/18	12/23	合計
傍聴者数	1	5	5	18	1	30
閲覧数	453	389	460	541	206	2,049

桶川市議会では、ボランティアの皆さんのご協力により

声の市議会だより(紅花の会)

点字版市議会だより(点字レモンの会)

を作成しています。

利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL 786-3211(代表)

788-4963・4964(直通)

表紙の写真

松原の真言(県指定無形民俗文化財)

川田谷の松原地区に伝わる「真言」はとても特
異な芸能です。芸は、太鼓のリズムに合わせて光
明真言を唱えながら、飾りのついたバチを、技巧
をこらしてお互いに投げ合うものです。松原地区
の女性は高齢になると「お斉念仏」の仲間に入り、
村びとの供養を担います。真言はこの念仏を行
う高齢の女性たちが伝承しています。

編集後記

午年について調べると、
午年の持つ特徴は、「躍
動と発展」とされます。
馬が力強く前へ向かっ
てまっすぐ進む性質から、
午年が、躍動、成功、事
業発展の象徴とされ、努
力が実を結ぶ年回りで、
新しい挑戦を後押しする
エネルギーが強い年でも
あるようです。

議員任期4年の内、2
年が過ぎ、12月議会では、
議長、副議長、監査の新
三役をはじめ、各常任委
員会の委員も新たな体制
でスタートしました。

市民生活向上のため、
努力が実を結ぶ新たな挑
戦の年としたいと思います。

(仲又)

議会だより編集委員会

委員長	佐藤 洋
副委員長	榊 萌美
委員	仲又 清美
委員	渡辺 まや
委員	砂川 和也
委員	北村あやこ
委員	近本あんな
委員	岡安 政彦